



地元企業を紹介!

問合せ まちの活性課 (☎469-3131)

市内の地元企業を、地元の高校生が訪問して紹介します。今回は、鶴原にある「五光精機株式会社」を、府立佐野工科高等学校の生徒のみなさんが訪問しました。

今月の地元企業

五光精機株式会社

- 所在地 鶴原208
- 代表取締役社長 濱崎忠親
- 主な業務内容

工業用ミシンの部品をはじめ、環境機器関連部品、計量機器部品など、幅広い分野における金属精密部品を製造しています。

強みである「現場力」を生かし、西日本初となる設備を積極的に導入するなど、発注を受けた案件には全て社内でも保有している設備により、一貫生産体制で高品質の「ものづくり」を心がけています。



▲代表取締役社長 濱崎忠親さん



Q 仕事でしんどかった時はどんな時ですか?

A 仕事がつましく流れない時、お客様からの図面通り、納期通りにかかず、クレームがあった時はしんどいです。

しかし、しんどいことは誰でもしんどい訳です。しんどい時でも、「動機付けしていき、身になるしんどさ」として、プラス思考になることが大事だと思います。

Q 作業するうえで、気をつけていることを教えてください。

A 一番はケガの予防です。それが、作業環境の整備や品質管理、お客様からの要求・納期を守ることにつながります。



▲話をお伺いした 専務取締役の山本伸幸さん



▲最新の機械も見せていただきました

Q 達成感を感じる時はどのような時ですか?

A 難易度が高く、何度も失敗して、時間をかけて作り直しても、納得するものを作り上げた時は達成感があります。

誰でも失敗しないと成長は無いと思います。失敗して「ああ、失敗したな」で終わるのではなく、失敗した原因が何だったのか、どう対策すべきだったのかを考えることが大切であり、それこそが次に繋がっていくものと考えます。失敗は大事なことです。

Q 今、企業が求めている人材は何でしょうか?

A 高校生の時から、出来るだけ学校外の現場で研修や実習を経験することが大切です。なぜなら、コミュニケーション能力を高めることができるからです。

仕事は、熱意×能力×実績であると言われることがあります。これは、どれだけ能力や実績があっても熱意がマイナスなら仕事もマイナスになる。ですから、どんな仕事でも熱意をもって臨むことが大切であるということです。

また、「報告・連絡・相談」が出来ることです。「報告・連絡・相談」があれば仕事はスムーズに流れます。簡単なことですが難しいことでもあります。



▲訪問した府立佐野工科高等学校のみなさん (左から神宿内洋介さん、松木小次郎さん、榎並 誠さん、黒岩怜奈さん)